



屋根は日本瓦葺き、外壁は下見板張り及び白壁風とし、能登地区の民家をイメージしている。隣接する「アクアパークション」と色調を合わせることにより、道の駅全体としての調和に配慮している。

●：便所の床タイル、壁タイル

■：外壁の下見板に能登ヒバ、内部造作材に杉、瓦葺屋根に日本瓦を使用

DATA

羽咋郡志賀町末吉新保向地内
平成15年7月～平成15年12月
RC・W造：1F
302m²



門前赤神地内では歩道がなく急カーブになっていたことから、新たに海側を埋め立て、歩道設置を含めたバイパス整備を行うと共に、「憩い・ふれあい・情報発信」の場として道の駅「赤神」を整備した。

●：床タイル

DATA

輪島市赤神地内
平成14年3月～平成14年8月
170m²

休憩施設・便所
W・RC造：1F
154m²

四阿棟
W造：1F
16m²